2023 年度春季　グローバル・インターンシップ(GI)プログラム 参加報告書

学部:経済学部 学科:経済学科 学年:2 年

①　インターンシップ先

AOI college of languages　(英語語学学校)

②　参加の目的

1．英語を現地で使いたかった

高校三年生の冬ころから「英語を話せたらかっこいいな」という思いがあり、最初はTOEICの勉強をしていました。勉強をしているうちに楽しくなり、実際に使いたいと思いオンライン英会話を始めました。そしたら英語がもっと好きになり、ネイティブの方と会話をしてみたい、英語が母国語である国に行ってみたいと強く感じるようになり、今回のプログラムを見たときに行くしかないと考えました。

2．やりたいことを見つけたかったから

英語を将来使いたい思いはもちろんありましたが、具体的な職業や業界は絞ることができていなかったです。このプログラムでは現地で働く経験ができるのでそこから何か一つでもきっかけやヒントがつかめればいいと感じました。私以外でもやりたいことが見つからず悩んでいる方はいると考えます。しかし私は、それはきっかけがないだけだと考えます。例えば、私の友人に消防士になった人がいます。その友達に「なんで消防士になろうと考えたの？」と質問すると「昔おばあちゃんが消防士に助けてもらって、そこから消防士になって自分も人を助けたいと考えるようになった」と言っていました。素晴らしい理由だと感心させられたのと同時に、もし友達のおばあちゃんが消防士に助けてもらっていなかったら、彼は今消防士になっていないのかもしれません。その経験が彼にとって消防士になるきっかけになったのだと感じます。このように、やりたいことを見つけるにはきっかけが大切だと感じます。そして、そのきっかけは自分から手にすることもできると感じています。私はこのプログラムに参加して、海外で将来働いてみたいと強く感じていますし、自身の専門知識を用いてキャリアを築いていきたいと考えるようになりました。こう感じられるようになったのはこのプログラムに参加したからだと感じます。だから、私のようにやりたいことが定まっていないのであれば、きっかけをつかむためにも参加してほしいと感じます。

③　現地での活動内容(1 週目の合同ビジネス研修について)

合同ビジネス研修では、様々な場所を訪れ、グローバル社会で働く方々からたくさんのお話を伺うことができました。現地で働く方の話は非常に説得力もあり、自身がアメリカで働くモチベーションを底上げしていただきました。出会ったすべての方が共通して言っていたことは、行動することの大切さです。「やりたいと思ったことはやる」という単純なアドバイスだったかもしれませんが、行動を移さなければ何も始まらないというのは事実です。中には、楽しそうという理由だけでアメリカに行ってみたという方もいました。そのくらい軽い気持ちで過ごしてみてもいいのではないかと視野を広げることもできた貴重な体験でした。すべての出会いや話を今後の人生につなげていきたいと感じています。

④　現地での活動内容(2 週目以降のインターンシップについて)

私は「AOI college of languages」という英語の語学学校でインターンシップを体験させていただきました。ここで働いて一番良かったと感じることは英語の語学学校なので、英語の先生方がいて必然と英語で会話ができることと、わからないことはすぐに質問できるということです。文法や発音に間違いがあったときは丁寧に教えていただき、3 週間という短い期間でも英語力は少し伸びたと感じます。仕事内容は幅広く、多くの経験を得ることができました(詳しくは⑥で説明)。主に私はパソコンを使い動画編集をしていました。時期によってはホームステイ先訪問に同行することや、電話対応を

英語でするといったこともできるそうです。どれも貴重な体験になると思います。英語をとにかく使いながら働きたいという方にはお勧めです。私たちは日本のスタッフの方々とも英語で話すことを心掛けていました。

⑤　インターンシップによって得られた学びや気づき

正直「自分は仕事ができないな」と感じました。もちろん業務内容による事だとは思いますが、今回のインターンを通しての感想はこれが正直なことです。これはネガティブになっているというわけではありません。私はそう気づかせてくれて本当に感謝しています。こんなにもできることが少ないのかと最初は悔しい思いをしました。データ入力の作業も何回かやるとやり方を忘れてしまうことや、パンフレットのデザインを考えても全くアイデアが浮かばなかったというような経験をしました。自分がここまで仕事ができないのかと気づかせられました。しかし、そこに気づかせてもらったことで必死に自分には何ができるのかを考えました。よりよい環境を作るために棚の整理をしたり、シールを張り替えたり、簡単なことでも自分にできることは必死にやろうと考えました。そして、動画編集の仕事を任されたときに、自分が少し得意だということに気づきました。自分がここでできることはこれだと感じ、動画編集に専念することにしました。働く前は、自分は仕事ができると感じていました。しかし、実際に働く中で悔しい思いをし、自分を見つめなおすことができました。もし、自身に根拠のない自信があり自分は大丈夫と感じているなら、実際に働く体験をすることは大切なのかもしれません。私はそこから悔しい思いをしましたが大切なことも学べたと感じます。（しかし、根拠のない自信も最後まで持つことができれば私はいいのではないかと考えます。） そしてこれらの経験から私は、将来は専門知識を用いて働ける職業をしたいと考えました。スキルや知識がないまま働くことを恐れたからです。また、自身の知識を活用して働けることに魅力を感じるからです。現在は米国公認会計士を目指したいと考えております。英語を使って世界で働ける可能性があるという点と高校時代に簿記を学び、そこに楽しさを見いだせたのが目指すきっかけになりました。

⑥　準備期間・インターンシップ期間中に困ったこと、苦労したこと

苦労したことは業務内容があまり経験したことのないものだったことです。業務内容は主にデータ入力、ファイル整理、動画編集、パンフレットのデザイン作成でした。このうち動画編集とパンフレットのデザイン作成は今まで経験したことのないもので最初は苦労しました。その中でも特にパンフレットのデザイン作成は苦手意識を感じていました。どんなに考えてもいいアイデアが浮かばないし、結局自分が丸2日くらい考えたものは採用されず、一緒に働いていた学生が手短に作ったものが採用されました。正直とても悔しかったです。単に経験不足もあるのかもしれませんが、正直自分には向いてないのかもしれないと感じました。その一方で動画編集は、楽しさを見出すことができ、そこは自分の中では意外な部分でした。自然とアイデアや構成が浮かんできて非常に楽しかったです。自身の経験から言えることは、人それぞれ得意な分野、苦手な分野があるのは事実だと思います。だからこそ自分からなにが得意なのかを探しに行くことが大切だと感じました。先ほど悔しい思いをしたと述べましたが、今回のプログラムに参加していなければ、そんな思いはできてなかったと思いますし、逆に意外と編集が楽しいもので自分にもできるものだと感じることはできなかったと思います。まずは行動をして、そこから得られるものをもとに自身と向き合うことが大切だと思います。

⑦　グローバル・インターンシップ(GI)プログラムに応募する後輩へのアドバイス

行きたい気持ちがあり、行くか迷っている理由が不安や自信の無さなのであれば、間違いなくいくべきです。20代の時にアメリカに行き、ホームステイを経験でき、それに加え現地で働く体験ができる。こんな経験を逃すのはあまりにももったいないと感じます。私はアメリカに行き、現地の方と交流する中で本当に自身の考えが変わりました。個人的な感想としては、アメリカで暮らしている人々からは彼らが自分らしく生きている感じが非常に伝わってきました。私は日本で生活する中で、周りの目線、表情を気にして、自分の意見や本当にやりたいことを我慢していたような気がします。しかし、ア

メリカで暮らす人々を見て、「そんなこと気にする必要あるの？自分は自分でいいじゃないか」と強く思えるようになりました。自分が着たい服、食べたいもの、行きたいところに行けばいいじゃないかと考えられるようになりました。この考えはアメリカに行かなければ持てなかったものだと感じます。もちろん、日本では日本での過ごし方があり、すべてをマネするべきだとは感じませんが、良いと感じた部分は吸収して「よりよい人生を送るために」と現在は考えています。冒頭で「行くか迷っている理由が不安や自信の無さなのであれば、間違いなくいくべきです」と述べた理由は、行くことによるデメリットがむしろ浮かばないからです。そして、おそらく現地に行けば楽しくて、不安は吹き飛ぶと思います。強いていうのであればお金がかかることです。そこは、ご家族の方と相談してください。ちなみに私は今回のプログラムの費用は大学からの奨学金を除いてすべて自分で出しました。自慢をしているわけではなく、そこまでかけて参加したかったということです。そして、それは実現できるということです。状況は人それぞれだと思いますが本気になればお金は貯められると私は考えます。行きたい気持ちが少しでもあるのであればトライしてください。私も少しだけ迷う気持ちはありました。しかし、仮に60歳や70歳になったときに「うわー、あの時お金を払うことをためらい、アメリカに行けなかったなー」と後悔するくらいなら、今お金を使ってまでも行くべきだと私は感じました。そして、実際に行った上で、参加してよかったと心から思います。私と同じ考えを持つ人が一人でも多くいたら幸いです。応援しています。　　「Do it now!」

⑧　思い出の写真

同校に通うO君とハリウッドサインをバックに撮った一枚です。写真でしか見たことのない憧れの場所だったこともあり、訪れることができてよかったです。

ディズニーランドでカーズのアトラクションの前で撮った一枚です。
カリフォルニアディズニーは最高に楽しかったです。